

一般質問通告書

令和2年第1回議会定例会（令和2年3月）

質問者（6名）

- ① 今井吉男
- ② 中野賢一
- ③ 新山直樹
- ④ 名間武忠
- ⑤ 西文男
- ⑥ 外山利章



知名町議会

通告順	議席9番	今井吉男	令和2年3月	日
1			時分～	時分

1. 本町における低炭素社会への取り組み状況について

今井町長は、昨年10月開催の第2回「子や孫に誇れるまちづくり」住民説明会において、低炭素社会を目指すことを表明されましたが、具体的な取り組みについて伺う。

- ① 役場新庁舎建設における地中熱をどう活用するのか、また導入費用は。
- ② 再生可能エネルギーの導入について。
- ③ ゴミの減量化・資源化について。
- ④ 燃料電池自動車の導入、先ずは役場公用車を切り換えては。
- ⑤ 小型風力発電機導入は。
- ⑥ 地球温暖化の影響で台風の大型化が懸念されるので、出来ることから実行すべきでは。

2. 年度末が迫る中、過去の一般質問での執行部答弁「検討課題」に対する検証について

- ① さとうきびの害虫を駆除する目的で、町内ほ場に設置した約50基の「誘蛾灯」は、管理が行き届いていないにもかかわらず、毎月電気料金が発生しているが、管理を徹底すべきでは。
- ② 生ゴミの減量化事業で導入した「おきのえらぶ食品リサイクルセンター」の液肥を農業で有効利用するために、「有機物供給センター」を運営する農林課への業務移管はいつからするのか。
- ③ 平成7年3月竣工の町立武道館は、平成16年9月5日の台風被害により、約16年間手つかずの状態で放置されているが、近くの公共下水道処理施設から排出される乾燥汚泥を利用する堆肥センターとして活用すべきではないか。

× ㄗ

通告順	議席8番	中野賢一	令和2年3月	日
2			時分～	時分
1. 少子化対策等について				
<p>① わが国の少子化の進行、人口減少は深刻さを増しており、まさに国難とも呼ばれる状況にあり、町として取り組みを進めていると思われるが、どのような取り組み等がされているのか。また、今後の少子化対策について伺います。</p> <p>② 少子化問題に対応するため、地方公共団体が行う結婚に対する取り組みや、結婚、妊娠、出産、乳幼児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運を醸成する取り組みを支援する国の交付金（地域少子化対策重点推進交付金）について伺います。</p>				
2. 地方の過疎化対策等について				
<p>多くの若者が地元を離れて都心部へ流出してしまうことにより、地方の過疎化が深刻化しており、第一次産業の衰退や限界集落の増加と問題へと発展し得る過疎化について伺います。</p> <p>① 移住者の受け入れについて。</p> <p>② 空き家対策について。</p> <p>③ 若者が住みやすい街づくりについて。</p>				
3. 地元業者等について				
<p>① 地元業者（下請け）等の育成について。</p> <p>② 老齢年金の支給開始が65歳に引き上げられたのに合わせて施行された「高齢者雇用確保措置」という制度によって、正社員は65歳まで雇用することが義務付けられているが、知名町内の業者はどのようなになっているか。</p>				

メ モ

通告順	議席1番	新山直樹	令和2年3月 日
3			時 分～ 時 分
1. 沖永良部空港について			
<p>現在、沖永良部空港は一日5便で運行されています。鹿児島行き3便に加えて、平成30年7月に開設されたアイランドホッピングルート便が加わり、平成29年は約101千人だったのが、平成30年には約117千人と利用客数が増加となっております。しかしながら出発ロビーが狭くゴールデンウィーク、お盆、年末年始の時期には保安検査通過後座席数が少なく、立って待っている人も見受けられました。また、到着ロビーも狭く、荷物が来るまでお手洗いにいくなど自由に出入りしている状態であり、保安上の問題も生じていると思われます。</p> <p>そこで、次の4点について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 出発ロビー、到着ロビーの増改築の計画はどうなっているのか。 ② 停電時の対応、対策はどうなっているのか。 ③ AEDの設置状況はどうなっているのか。 ④ 計器着陸装置の設置に向けた要望、要請は現在どうなっているのか。 			
2. 道路整備について			
<p>県道、国頭知名線は本町西方面からの交通量も多く、隣接する屋子母字と知名字西部から知名小学校、知名中学校への通学路としても重要な路線であります。</p> <p>しかし、歩道が未設置のため通学生及び地域住民、特に高齢者のための安全が確保されていない状況などの理由から地区責任者（知名字区長）から道路整備要望書が提出されていますが、現在はどうなっているのか。（TマートからJAスタンド十字路までの区間）</p>			
3. 通学路について			
<p>現在、小米、瀬利覚方面からの児童は郵便局の方から正門までの道路を通学路として使用しています。下校の時間帯には車の往来があり、危険だと思われます。運転手の方に周知させるために路面に注意喚起の標示をすることはできないか。</p>			

メ モ

通告順	議席12番	名間 武忠	令和2年3月 日
4			時 分～ 時 分

1. 元気、活力ある地域・集落づくりについて

町の発展は、地域・集落の元気・活力ある社会活動を必要不可欠と考えられる。本町は、人口減少、少子高齢化の進展や、地域活動の牽引者となる青壮年の減少による集落の社会活動や通常の社会生活に支障を来しつつある。

町内21集落が活力ある地域・集落づくりを行うことへの支援について、お尋ねします。

- ① 人口の50%以上、65歳以上の高齢者を示す限界集落の有無、及び合計特殊出生率の数値について。
- ② 現在、活動している地域おこし協力隊について、令和2年度以降の継続が行われるのか。
- ③ 集落支援員の導入について。
総務省が進めている集落支援の一環として、国の財政措置、支援員一人あたり350万円を上限とする支援や情報提供等が実施される集落支援員制度の導入を図れないか。
- ④ 各集落担当の職員配置について。
集落と行政の情報の共有、区長との連携や地域・集落づくりを支援する体制として、職務担当に役場職員を配置できないか。

2. 公共施設の適正管理について

(1) 町民は、各種イベント、会合や大会等の駐車に不便を来している。

各施設の駐車スペースの確保に駐車場敷地内を改善できないか、お尋ねします。

- ① 中央公民館南側の駐車場は、公民館、図書館、フローラルホテルやフローラル館利用者の使用も多く、早急に舗装、車止め等の安全対策の整備をできないか。
- ② 町民体育館の西側と南側は、道路及び駐車場として利用されている。しかし、現状は、砂利道で凸凹、雨天時に水溜りとなり、通行に支障を来すと共に危険性も高い。また、駐車スペースも雑草、未整備により狭い状態となっている。道路、駐車場として早急な整備をできないか。

(2) 公共施設の適正な維持管理について、民間、NPO団体への譲渡、貸し付けを行う事が有効な民間活力となり、財源確保と共に防犯にも繋がると思われる。次の施設の今後の管理、活用についてお尋ねします。

- ① 大山野営場内のバンガロー、キャンプ施設の利用状況及び整備について。
- ② 武道館は、一部を弓道場として活用されているが、本体は、平成16年の台風被災後の老朽化が著しい。今後、改修の有無、及び民間、NPO等による活用に向けた公募はできないか。
- ③ 令和3年度末完成予定の役場新庁舎への移転に伴い、現庁舎の建物・敷地の跡地利用の計画について。

3. 文化ホール周辺に公共施設の集約化について

役場新庁舎移転後の文化ホール周辺に、現在、策定中の令和2年度から開始される第6次総合振興計画に老朽化の著しい中央公民館や包括支援センター等、行政施設の集約化計画について、お尋ねします。

メモ

通告順	議席5番	西 文 男	令和2年3月 日
5			時 分～ 時 分

1. 町防災計画等について

- ① 沖永良部は台風の常襲地帯である。町の無電柱化推進について、今後の計画はどうなっているか。
- ② 災害時に指定されている町の避難場所について、AED設置状況はどうなっているか。
- ③ 各避難所における非常用設備品等について。

2. 町政全般について

- ① 主要幹線道路の県道知名国頭線、屋子母字道路で一部側溝が傾いている箇所があり非常に危険である。早急に改修工事は出来ないか。
- ② 町の教育・文化の町宣言の看板について、先の9月議会でも質問しました。あしびの郷入口、新城字内の看板はどうなっているか。
- ③ 緊急時の島外医療機関への搬送方法について、9月議会でも質問しました。町民の中には、沖縄医療機関等への搬送を希望される方も多いので、沖縄医療機関等への搬送についても検討できないか。
- ④ 町の1人当たり療養（医療）諸費費用はどれぐらいか。
- ⑤ 今年になり鹿児島、沖永良部間の飛行機の欠航が特に多いと思うが、町として航空会社へ原因究明を行っているか。

× ㄗ

通告順	議席2番	外山利章	令和2年3月 日
6			時 分～ 時 分

1. 第6次総合振興計画について

- ① 町政運営の基本指針となる「第6次総合振興計画」が描くまちの未来像とはどのようなものか。
- ② 「第6次総合振興計画」は、まちづくりの基本的理念や方向性を示す「基本構想」で構成されているが、その構想を実現するための個別具体的な事業計画の策定は。また、総合振興計画の進捗管理および評価手法はどのように行うのか。
- ③ 計画の達成には、そこで謳われているまちづくりの基本理念を町民全体で共有することが重要だと考える。そのためにどのような対策を行うのか。

2. 公共交通（バス）の維持および活用について

- ① 人口減少や高齢化の進行により、住民の移動手段としての公共交通の重要性は今後さらに増すものと考えられるが、その運営維持に向けた取り組みは。
- ② 島内には地元の住民しか知らない多くの地域資源があり、その活用が観光振興の一助となることが期待されている。そこで路線バスを利用した観光ルートの開発および両町の交流促進に向けた取り組みを進めてはどうか。
- ③ 子どもの時期からバスを利用することで公共交通に対する意識が向上し、その後の利用促進に繋がるものと考えられる。そのためには児童、生徒のバス利用（スポーツ少年団、図書館利用など）に向けた環境整備が必要と考えるが行政としてどう対応するのか。
- ④ 「沖永良部バス企業団経営戦略」において本社事務所（車庫）の移転および観光協会との連携が計画されているが、進捗状況はどのようになっているか。

× ㄗ